

学校だより

平田野中学校通信

令和8年3月12日 第20号

Tel 378-0126 Fax 378-4895

平田野中

Q 検索

卒業式

3月6日、3年生133名の卒業証書授与式を行いました。練習ではやや小さかった返事も、この日はしっかりできていましたね。答辞も感動的で、これまでの3年間の思い出だけでなく、多くの人への感謝の気持ちが伝わってきました。最後の合唱も素晴らしく、合唱コンクールで感じた「さすが3年生」を思い出しました。

9年間の義務教育を終え、4月からはそれぞれの進路に進んでいくこととなります。ぜひとも、それぞれの道で自分らしく輝いてほしいですね。

式に参加した2年生は、何か感じるものはありましたか。1年後の自分の姿が想像できましたか。いよいよあなたたちが平田野中学校を引っ張っていく存在になります。自分自身の進路についてもしっかり考えてください。そして、自分自身のことだけでなく、最上級生としてのふるまいにも気を配れる人でいてください。

来年も今回同様、立派な卒業式を迎えられるよう、これからの毎日を過ごしましょう。



ようこそ先輩

3年生が卒業した翌週の3月10日、2年生が自分の進路選択に役立てるため、現在高校2年生の平田野中学校卒業生8名をお迎えし、自分の通っている高校の紹介をしてもらいました。

中学校とは違うこともたくさんあり、また、それぞれの高校によっても違いがあることがよくわかりましたね。3年生間近の2年生は、いよいよ自分の進路のことを考える時期になってきました。いろいろな高校のことを知ったうえで、自分に合った高校を目指してほしいですね。



3年生になると、多くの高校から「高校生活入門講座」や「体験入学会」の案内が届きます。実際にその高校に行って、自分の目で見てくるチャンスです。自分のこととして、自分の進むべき道を自分の力で見つけていくことは、自身の将来を明るくするでしょうね。頑張ってください！

3月11日に思うこと

今年、2011年3月11日に起こった「東日本大震災」から、15年目となります。地震は小さなものも含めると、ほぼ毎日どこかで起こっており、改めて日本が「地震の国」であることが認識できます。最近の三重県では、大きな被害をもたらす地震は起こっていませんが、逆にいつ起こってもおかしくない状況とも言えます。学校では年間3回の避難訓練と、この時期に防災学習を実施しています。

地震が起こったときに注意することは3つあります。それは「ゆれ」「火災」「津波」です。平田野中学校区では「津波」の心配はほぼありませんが、それでも「ゆれ」「火災」には気を付けなければいけません。生徒の皆さんにとって東日本大震災は生まれる前の出来事で、どこか遠い世界の話のように思っているかもしれません。また、大きな地震にあった経験もないので、いざ大きな「ゆれ」が来た時、パニックにならないかが心配です。

防災学習でも学ぶことですが、本当に大きな地震はいつ起こるかわかりません。学校にいるときの避難は訓練しますが、例えば休日や登下校中に地震が発生した時にどうするか、ご家庭でもどこに避難するか決めておくことが大事だと思います。



被災した南三陸町役場の跡、 →
周りはすべて津波で流されました



令和8年度前期生徒会役員が決まりました

企画委員(平子侑季)
たくさん企画を考えて
過ごしやすい学校に
していきたいので
半年間よろしくお願いします。

企画委員(北村心羽)
皆さんの学校生活を
生徒会のみならず
みんなでより楽しく
していくので
よろしくお願いします。

企画委員(石上新菜)
学校生活をより良く
できるように頑張ります。
よろしくお願いします。

企画委員(猿井健太)
学校生活を楽しく
いいものにできるように
協力して頑張ります。
よろしくお願いします。

副会長(後藤奏翔)
会長を支えながら
全力で仕事をやり
遂げたいと思うので、
よろしくお願いします。

副会長(酒井彩友咲)
企画委員のときに
学んだことを活かして
一生懸命頑張ります。
よろしくお願いします！

会長(佐藤愛奈)
皆さんの意見を聞いて
よりよい学校になるよう
頑張っていきます。
半年間よろしくお願いします。

